

令和2年8月13日

関係者各位

第6回沖縄海洋ロボットコンペティション

実行委員長 高良富夫

第6回沖縄海洋ロボットコンペティション実施に係る新型コロナウイルスの対応について（案）

第6回沖縄海洋ロボットコンペティションの実施については沖縄県外の他エリアからの参加者も多いことから、新型コロナウイルスの影響を考慮し、以下のような対応とさせていただきます。

1. 大会実施形態について

(1) 緊急事態宣言や渡航自粛要請などにより来場が困難なチーム

競技はフリースタイル部門（ビデオ審査）にて行う。説明はオンラインによる技術プレゼンテーションにて行う。

(2) 来場が可能なチーム

競技はエントリーした部門の実機競技を行う。説明はオンラインによる技術プレゼンテーションにて行う。エントリー後に来場できなくなった場合は、フリースタイル部門（ビデオ審査）への切り替えを可能とする。

実施形態の比較表

	第5回（2019）	第6回（2020）	
	全チーム	来場可能チーム	来場困難チーム
競技方法	エントリーした部門において実機による競技	エントリーした部門において実機による競技	フリースタイル部門（ビデオ審査）
説明方法	ワークショップ、技術レポート （知能・計測チャレンジのみ）	オンラインによる技術プレゼンテーション 技術レポート（知能・計測チャレンジのみ）	

2. 昨年度からの主な変更点について

2. 1 フリースタイル部門（ビデオ審査）について

フリースタイル部門は従来の実機による競技から、ビデオによる競技へ変更いたします。名称は「フリースタイル部門（ビデオ審査）」とします。カテゴリに制限はありません。参加者で設定したコンセプトに従って、技術力と実現力をアピールしてください。ビデオ撮影時のロボットの動作環境は海での動作を推奨しますが、困難な場合はプール等での動作でも良いこととします。

また、AUV 部門などの他部門へのエントリー後、新型コロナウイルスの影響等で来場が不可能になった場合は、エントリー後にフリースタイル（ビデオ審査）へ切り替えての出場を可能とします。

2. 2 技術プレゼンテーションについて

今年度に限り新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ワークショップを行わず、技術プレゼンテーションへ変更いたします。技術プレゼンテーションは来場の可否に関わらずオンラインによるプレゼンテーションとします。ポスターセッションは行いませんが、ガイドブックに掲載することからポスターは提出してください。

3. 沖縄での実機競技の実施可否決定時期について

9/30(金)（申込み期限）の時点で、エントリー状況と沖縄県の状況を考慮し、沖縄での実機競技の実施可否について決定します。沖縄での実機競技の実施ができない場合は、すべての競技をフリースタイル部門（ビデオ審査）のみを対象としたオンライン開催とします。9/30（金）の時点で実機競技を実施可能と判断した場合でも、その後の状況によってはオンライン開催へ移行する場合がありますのでご了承ください。